



## 節 目

小学部副校長 近江 学

平成から令和へと新しい元号となった節目の年。霧が丘学園は、小中一貫校として10年目を迎えました。そして、11月9日(土)には「小中一貫10周年記念お祝いの会・祝賀会」を開催することができました。会を開催するにあたり、来賓の皆様、地域の皆様、保護者の皆様をはじめ、大変多くの方に支えられている学校であることを改めて実感いたしました。本当にありがとうございました。



午前中に行われたお祝いの会、第一部の「記念式典」では、全校の児童生徒によって制作された、校歌レリーフのお披露目がありました。1年生から9年生の代表児童生徒による除幕が行われ、お披露目となりました。本校の校歌は、1・2番を小学部児童、3・4番を中学部生徒、そして5番を全員で合唱します。体育館に一同が集まり校歌を歌う様子は、小中一貫校独特の何とも言えない雰囲気があります。(霧が丘中学校時代の校歌レリーフは、中学部校舎1階の廊下に移動しました。卒業生が訪れたときでも、間近に見ることができるようになっています。)

第二部の「児童生徒のお祝いの会」では、生徒会本部が企画した「宝探しゲーム」が行われました。中学部の生徒と小学部の児童が一緒になり、縦割りのグループをつくり、校内のチェックポイントを回って宝を探しました。1年生から9年生までが楽しめるように生徒会本部が一生懸命考えたゲームです。これも小中一貫校ならではの児童生徒の合同行事となる有意義な時間となりました。



本校は小中一貫校として、霧が丘小中学校から始まり、現在は義務教育学校霧が丘学園へと移行しました。10年目を迎えた今、霧が丘学園は創成期から成長期・発展期へと変わっていく節目の時ではないでしょうか。折しも、令和2年度からは小学校の新学習指導要領が全面実施となり、令和3年度からは中学校が全面実施となります。変化の激しい社会と言われる久しくなります。日本の教育も現在の社会に対応していく節目となる時でもあります。

ところで、節目にはどのような意味があるのでしょうか。節目の語源は「竹の節」から来ているそうです。竹は節があることで強く大きく成長できることから、比喩的に大事な場面や区切りの場面で「節目」という言葉が使われるようになったそうです。本校でもこの節目の時期を大切にしていかなければなりません。この10年で小中一貫校としてなされた様々な取り組みを振り返り、今の社会に適応した持続可能な教育活動へと成長・発展していく節目となるべく努力してまいります。

毎年この時期に、学校評価アンケートを保護者の皆様をお願いしています。新しい教育活動の節目づくりがまさに始まると思っています。皆様からの声をお待ちしております。ご協力よろしく願いいたします。



石宙の庭  
(中学部中庭にできました)

～小中一貫10周年記念にてご寄贈いただきました。誠にありがとうございました。～  
霧が丘連合自治会様・・・霧が丘の街を考える児童生徒絵画作文コンクール 奨学金  
霧が丘緑舎様・・・「石宙(せきちゅう)の庭」(霧が丘学園中学部中庭に作庭)  
霧が丘第三小学校第二代校長 大村高様・・・演台クロス、花台クロス